

第七十五回実朝忌俳句大会入賞句 大会投句の部

令和五年三月吉日

順位	賞名	作品	住所	氏名
1	実朝賞	学ぶ意味問う少年や実朝忌	茅ヶ崎市	大西 和子
2	神奈川県知事賞	鎌倉の余寒真つ直ぐやつて来る	東京都	志磨 泉
3	神奈川県教育長賞	冴え返る波に少年一人立つ	座間市	鈴木 幸子
4	鎌倉市長賞	実朝忌海鳴りの身をつらぬけり	東京都	大久保 昇
5	鎌倉市議会議長賞	庫裡に干す大き俎板涅槃の日	横浜市	山崎 妙子
6	鎌倉市教育委員会賞	戦なき世を頼みたり実朝忌	横浜市	遠藤 清子
7	鎌倉市観光協会賞	光芒の沖に船置く実朝忌	茅ヶ崎市	伊藤真理子
8	鎌倉商工会議所会頭賞	歌あはれ句碑に寄り添う初桜	鎌倉市	添田 洋子
9	鶴岡八幡宮宮司賞	やはらかき谷戸の日集め実朝忌	埼玉県	増田 信雄
10	鎌倉彫会館賞	鎌倉の風鎌倉の糸柳	東京都	曾根新五郎
11	湘南信用金庫賞	実朝に会へる鎌倉海靡	東京都	目黒 琴音
12	J・COM湘南賞	梅東風をあてに魚干す由比が浜	藤沢市	広枝千鶴子
13	豊島屋賞	鎌倉桜植うる良き日や実朝忌	横浜市	正谷 民夫
14	〃	岬鼻の海より青く菫草	千葉県	岡井マズミ
15	鎌倉彫博古堂賞	しばらくは栗鼠との会話実朝忌	二宮町	佐藤 美保
16	井上蒲鉾店賞	路地裏の花吹き入れて人力車	藤沢市	畑 昌子
17	〃	春の空大道芸の皿まはる	鎌倉市	斎藤 茂子
18	紀ノ国屋賞	鎌倉の裏道が好きしだ萌ゆる	東京都	東郷 淑子
19	江ノ島電鉄賞	春潮の光満つるや実朝忌	千葉県	宇野久美子
20	〃	影まとふ鎌倉彫や実朝忌	横浜市	原 和三
21	斉藤建設賞	右府の忌のうねる潮目の碧さかな	平塚市	尾崎千代一
22	島屋賞	春雷の奥底響く実朝忌	鎌倉市	村田 零
23	鎌倉虚子立子記念館賞	草創の鎌倉文士実朝忌	川崎市	佐々木光政
24	〃	天も地も黙す鎌倉実朝忌	茅ヶ崎市	岩崎 絵美
25	瑞泉寺賞	八百年の柏楨の香や春の雨	鎌倉市	浅木 ノエ
26	〃	鎌倉に集ふ俳人立子の忌	東京都	橋本世紀男
27	鉢の木賞	流木の美しき木肌や実朝忌	鎌倉市	中村 草馬
28	〃	春灯や小町通りの団子売り	平塚市	三和 邦彦
29	御代川賞	波幾重とどろに寄せり実朝忌	横浜市	今村 千年
30	〃	語り部のかんばせ銀杏芽吹きそむ	鎌倉市	坂本きみ子
31	〃	鎌倉は谷戸また谷戸や百千鳥	横浜市	菅原 若水
32	鎌倉峰本賞	実朝の海より生まる涅槃西風	横浜市	鈴木 基之
33	〃	実朝の涙のごとく桜貝	鎌倉市	長谷川慎子
34	〃	初桜空の蒼さにふたつみつ	東京都	紙川 明子
35	〃	花の芽の膨らみそろふ実朝忌	埼玉県	須田美津子
36	〃	梅東風や小町通りの店替はる	鎌倉市	宮崎 洋
37	スルガ銀行賞	春泥や戦車の轍絶え間なし	鎌倉市	石川 洋一
38	落合彫刻賞	幾度もよみがへる歌実朝忌	逗子市	佐藤 信子
39	かまくら春秋社賞	都より届きたる文実朝忌	藤沢市	なかむら美和
40	〃	春めくや江ノ電の行く魚の街	横浜市	加藤 文男